

自分に向いていると思うことをやっているだけ

井上美智子 (奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科 教授)

仕事の内容とやりがい

私の仕事は、大学の教員です。研究と教育が仕事です。たくさんのコンピュータを使う計算の仕組みを研究する分散・並列アルゴリズム、半導体回路の信頼性を保証するためのVLSI設計とテストなどの研究をしています。研究のおもしろいところは、頭の中で考えたアイデアからスタートして、それを具体化し、評価し、世の中の役に立つよう育てていくプロセスです。大学では、研究のプロセスを学生と共有することで、学生が成長するのを実感できるところに、教育という仕事にもやりがいを感じています。

進路決定のきっかけ

国語や英語よりは数学や理科が好きだったので理系を選び、高校生のときに世の中に現れたコンピュータという最新技術に関わりたかったので、情報科学を選びました。「理系に行くぞ!」というよりは、「文系は苦手」というのが正直なところかもしれません。大学の研究室で、グラフ理論という基礎理論に出会い、プログラムをゴリゴリ書かなくても情報科学の分野に貢献できることがわかり、研究がおもしろくて大学の先生になってしまいました。

仕事と生活のバランス

フルタイムで仕事しながら、娘と息子を育て、いろいろできて人生楽しんでます。保育園では保育環境を改善する活動してみたり、中学校ではPTAのホームページを作ったら誰もメンテできないので何年もボランティアでホームページ係をしてみたりと、自ら自分を忙しくしてしまうので、ワークライフバランスをとるのが大変です。もっとも、仕事も忙しくさせてもらっているので、両方たくさんでバランスはとれているかもしれません。

進路選択に対するメッセージ

自分が向いていると思うことをするのが、仕事も生活も楽しめて持続します。自分に何が向いているのかは、やってみないとわかりません。「こうするべきだ!」なんて肩ひじ張らずに、興味のあることをどんどんやってみるのがいいと思います。そして、自分に向いていることに出会ってください。子育ては、自分にとってもとてもプラスになる経験だと思えます。パートナーも必要なので計画的にはいきませんが、チャンスがあればぜひやってください。



<井上美智子(いのうえみちこ)プロフィール>

熊本高等学校卒業、大阪大学基礎工学部卒業、同大大学院基礎工学研究科博士前期課程修了、(株)富士通研究所(結婚、第一子出産)、大阪大学大学院基礎工学研究科博士後期課程(日本学術振興会特別研究員、第二子出産)、奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科助手、同大助教授、准教授を経て、現在教授